

平成29年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

1 学校名	小城市立芦刈中学校		
2 所在地	小城市芦刈町三王崎14番地		
3 校長名	濱崎 豊治		
4 学級数 児童生徒数	6学級(特別支援学級1含む) 136人(2人)	5 実施学年 児童生徒数	1年 44人

6 取組のねらい

UD（ユニバーサルデザイン）の基礎知識を学び、社会の一員としての素地をつくる。また、修学旅行での調べ学習や福祉体験等いろいろな体験学習を通して、UDの考え方で、誰もが安心して暮らせる「芦刈まち」や「もの」、「サービス」などを見ることで、地域の環境や将来の展望、自己実現について考えさせる。

7 取組の実際（写真等を入れ具体的な様子がわかるようにすること）

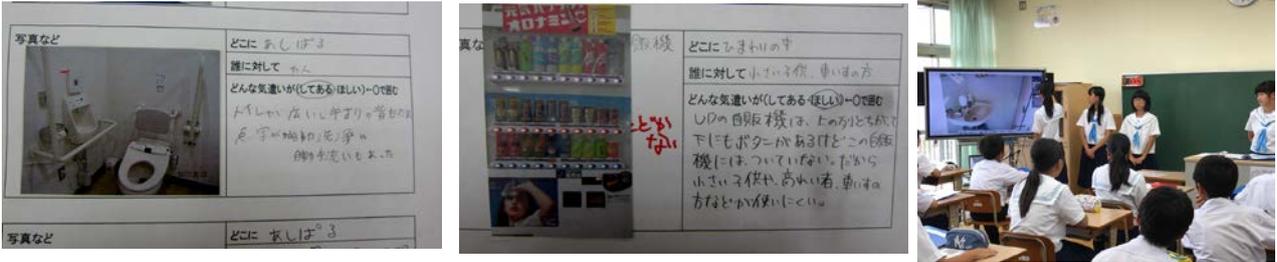
○1学期

UDの基礎知識を学ぶとともに、福岡修学旅行を通して、福岡市のUDの取り組みを調査し、新聞形式にまとめた。



○夏休み

芦刈町内のUD調査。自宅、学校や店舗、公園、道路などを調査し、「いろいろな立場の人の視点から使いやすいように工夫されたところ」や「改善したほうがいいところ」を見つけ、レポートにまとめた。2学期初めの総合的な学習の時間にクラスごとに発表し、交流をした。レポートは、全員分掲示した。



○2学期

講演や福祉体験学習を通して、障がいのある人、高齢者等、社会的にハンディのある人への理解を深め、共に安心して暮らせる社会とはどんな社会かを考えた。これまでに学び、考えたことを、学年劇として創り上げ、文化発表会で全校に発表し、学年の思いを発信した。また、一人1枚の新聞にまとめ、文化発表会で掲示した。また同じ福祉体験をこれから行う小学3年生の質問に答える交流会を行った。

- 1 事前学習…ビデオ視聴「心響きあうまちに」
- 2 講演…「夢への挑戦」柳川春己氏
- 3 福祉体験…アイマスク体験・手話体験・車いす体験・高齢者疑似体験
- 4 障がい者スポーツ体験…ボッチャ・ゴールボール
- 5 UD新聞作成
- 6 創作劇「みんなちがってみんないい」
脚本作成・練習・文化発表会でステージ発表

UD新聞



福祉体験

劇の発表
UDをテーマにした



8 取組の成果と課題

段階的にUDの学習を深め、福岡市や芦刈町、身の回りの物のUD調査等を行うことによって、生徒たちは視野を広げ、UDの視点で物事を考えることができるようになった。また、福祉体験を通して、障がいをもった方々や高齢者の生活の困難さを自分のこととして捉えるとともに、介助の仕方、周囲の対応の在り方はどうあるべきかも学ぶことができた。学びの集大成として、生徒自身で脚本をかき、「劇」という形で、発表できたことも大きな収穫である。

総合的な学習の時間を通してUD教育に取り組んできたが、これで終わりではなく、今後も折に触れて、UDや人への思いやりなどの人格の形成や共に安心して暮らせる福祉社会の実現に向けて努力する心などを培う取り組みを継続していくことが必要である